

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名 大正区

学 校 名 泉尾北小学校

学校長名 岸上 智弘

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・泉尾北小学校では、第6学年 22名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

【平均正答率(全国比)】国語科：－4.8%、算数科：－7.0%、理科：－11.1%と3教科とも下回る結果となった。
 【平均無回答率(全国比)】国語科：－0.8%、算数科：－1.5%、理科：－1.3%であり3教科とも低い結果となった。

児童質問紙では生活リズムの値（定時の起床…90.5%、就寝…76.2%）が高く、規則正しい生活を送ることができていると考える。また、「自分にはよいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目に関して、それぞれ90.1%、100%であることから自己肯定感および他者貢献感が高いと考える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

【成果】平均正答率は全国および大阪市より下回ったが、「読むこと」の項目においては全国より+11.5pt、大阪市より+12.1ptと大きく上回っている。これは令和4年度より3年間国語科の研究に取り組んできた成果であると考ええる。

【課題】正しい漢字を使って書き直す問題に関しての正答率がかなり低かったため、読解力の向上に加え、言葉の知識の向上を図る必要がある。

〔算数〕

【成果】全領域において平均正答率を下回ったが「数と計算」領域の正答率が全国、大阪市に比較的近かった。（全国：－4pt、大阪市：－4,4pt）その日にわからなかったことを放課後学習で学ぶことができたからだと考ええる。

【課題】「図形」領域がかなり弱い。そのため家庭学習や授業内における補助教材でレベルアップを図る必要がある。

〔理科〕

【成果】「地球」を柱とする領域の平均正答率が50%を上回った。物質の三態についての理解ができていると考える。

【課題】全領域において平均正答率が全国より10pt以上低い結果となった。授業の改善や目につくところに教具を置き、常に理科に触れている環境を作ることによって児童の興味関心の向上を図る。

質問調査より

「自分には、よいところがありますか」の項目がここ数年で上昇傾向にある。（R6年度肯定的回答 78.8%→R7年度肯定的回答 90.1%）ここ数年児童主体の行事や縦わり班活動を多数取り入れ、自他ともに良さを認め合う風潮が学校全体に広がってきたからだと考えられる。今後も継続していく。

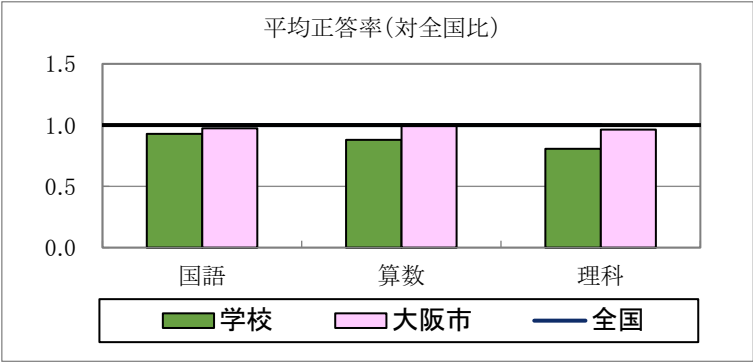
今後の取組(アクションプラン)

- ・各教科における基礎・基本の習得を確実なものにするため、家庭学習の見直しを推進する。そのためにブロック推進事業における家庭用ドリルを活用し、家庭学習計画の一助となるようにする。またデジタルドリルを併用し、児童が主体的かつ意欲的に学ぶ環境を整える。
- ・家庭と連携し早寝早起きやスクリーンタイム（動画などを見る時間）などの生活リズムの見直しを促すようにする。
- ・放課後学習「I z u k i t a キャンパス」の内容精査および改善。

【 全体の概要 】

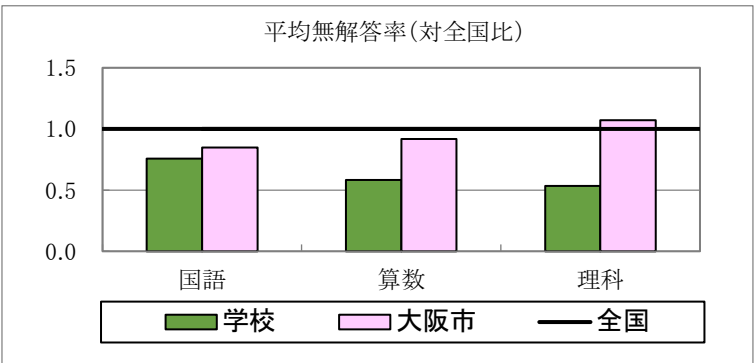
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	62	51	46
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	2.5	2.1	1.5
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

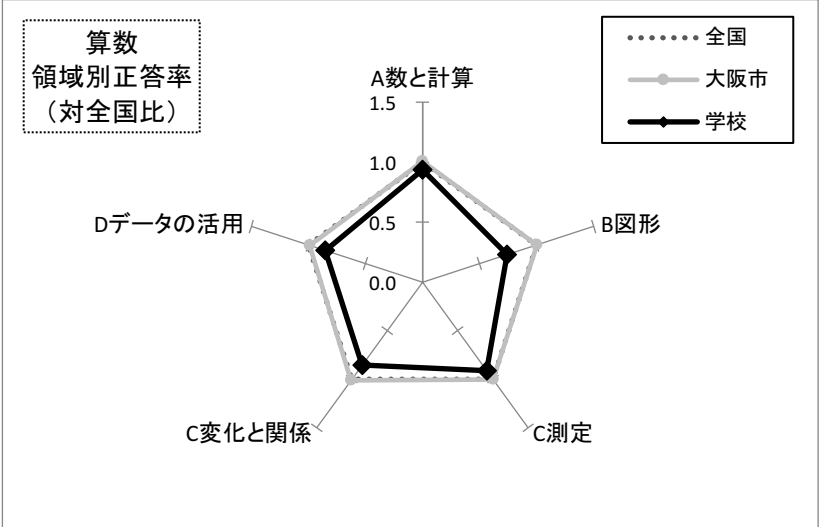
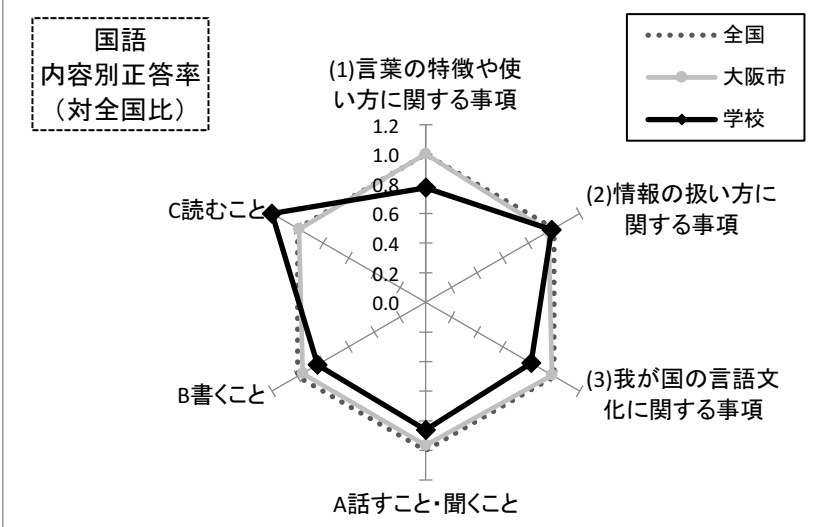
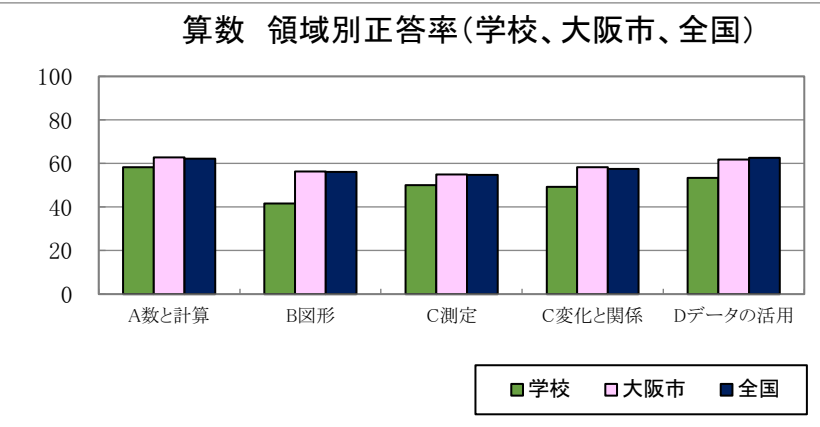
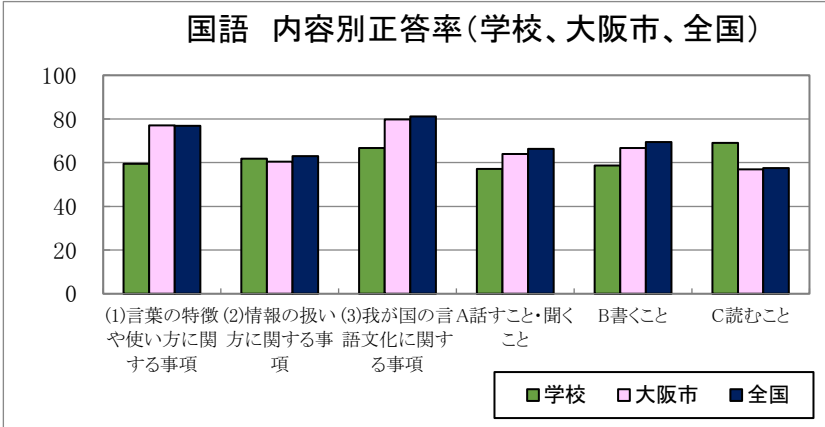


【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	59.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	61.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	66.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	57.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	58.7	66.7	69.5
C 読むこと	4	69.0	56.9	57.5

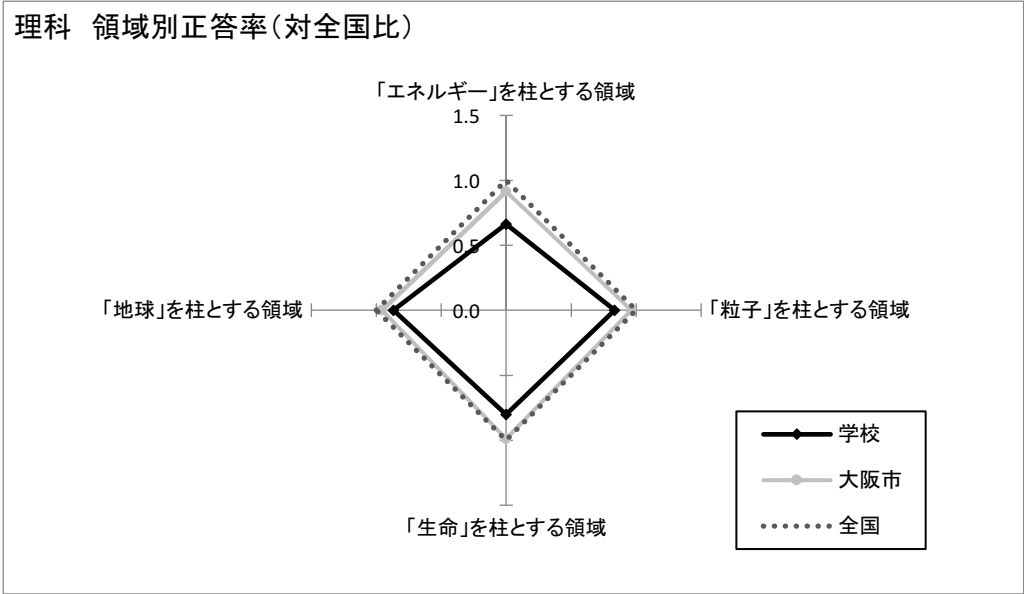
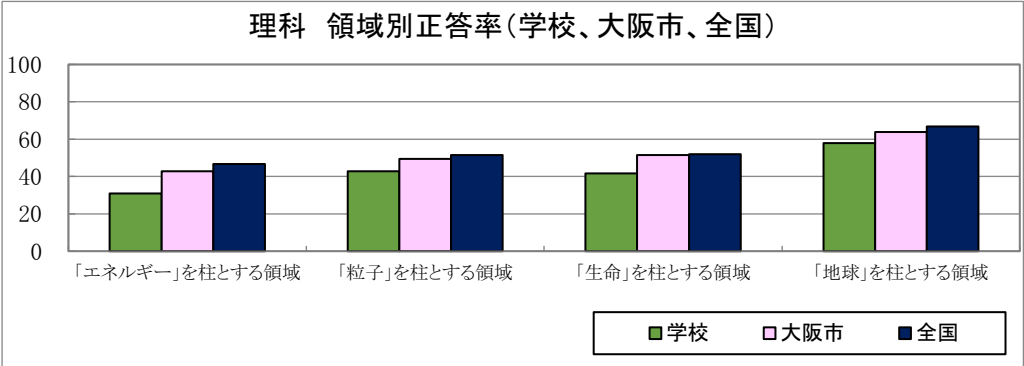
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	58.3	62.7	62.3
B 図形	4	41.7	56.4	56.2
C 測定	2	50.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	49.2	58.2	57.5
D データの活用	5	53.3	61.9	62.6



【 理科 】

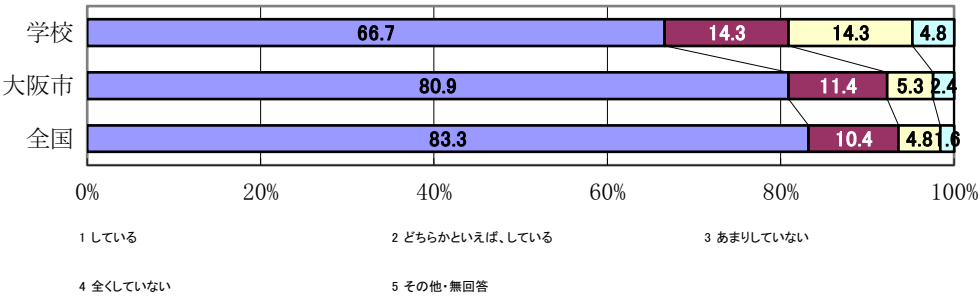
学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	31.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	42.9	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	41.7	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	57.9	63.8	66.7



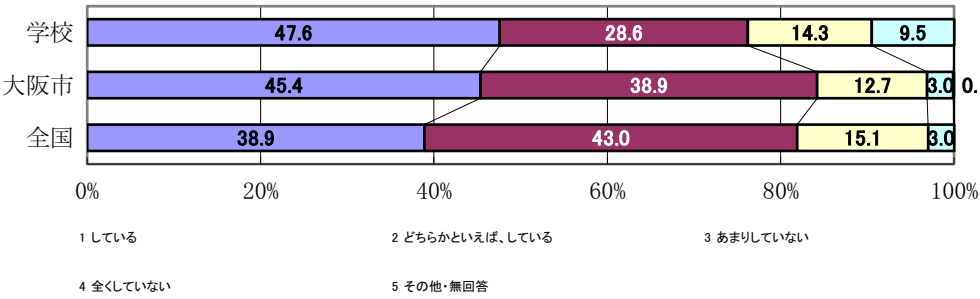
児童質問より

質問番号
質問事項

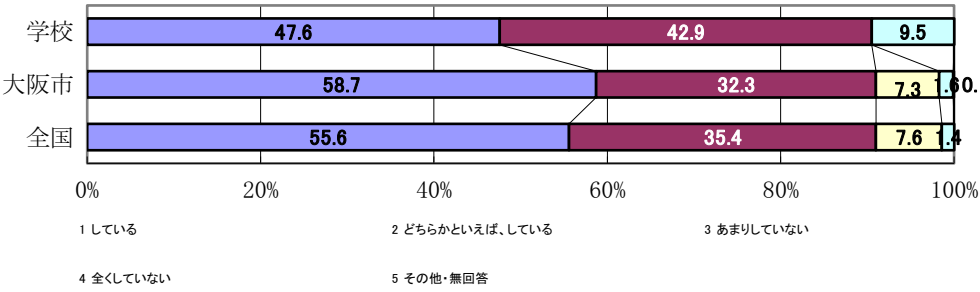
1
朝食を毎日食べていますか



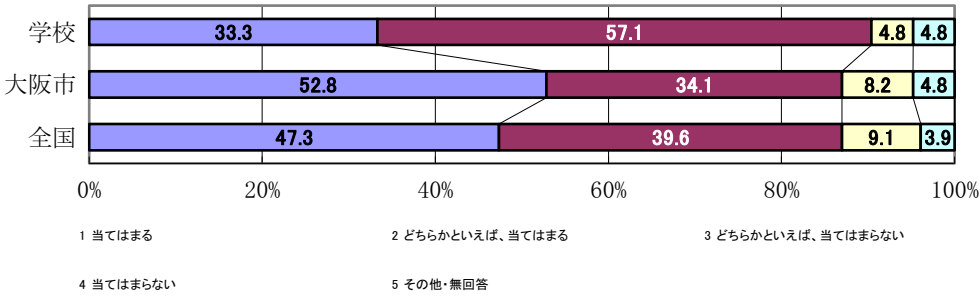
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



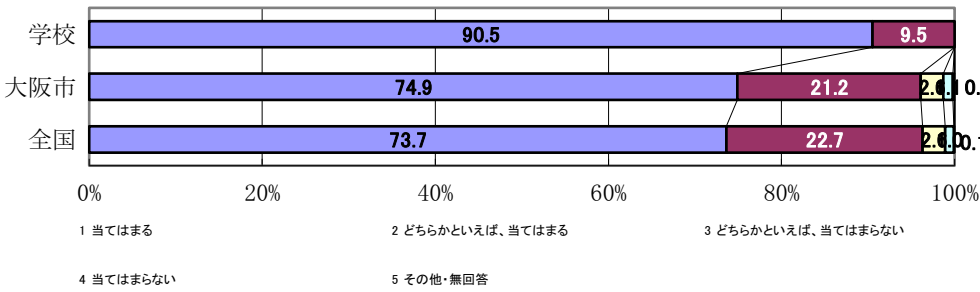
3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



5
自分には、よいところがあると思いますか



11
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



学校質問より

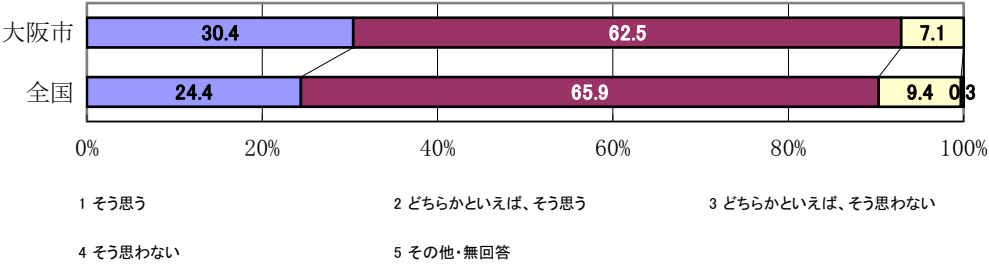


質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

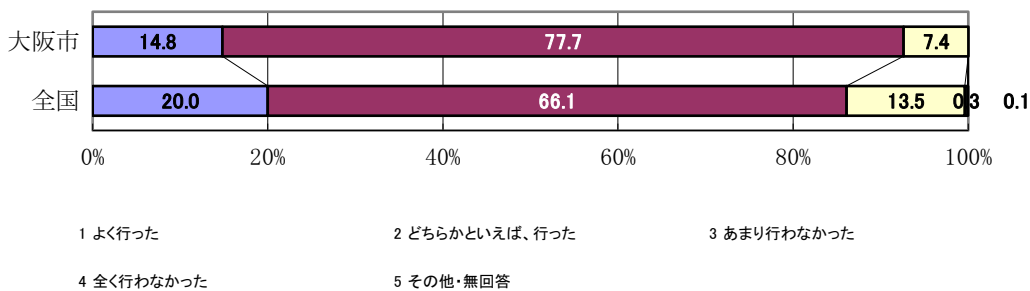
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

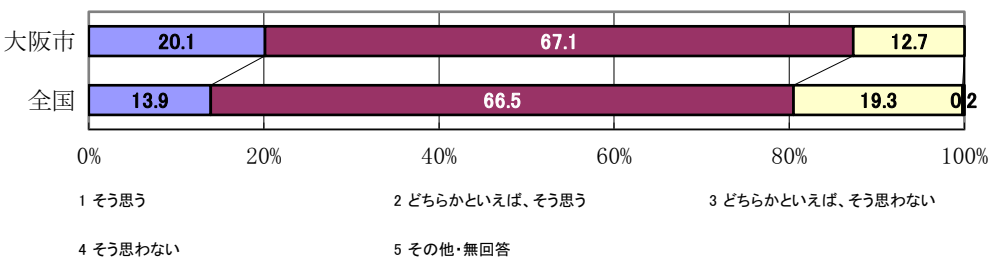
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

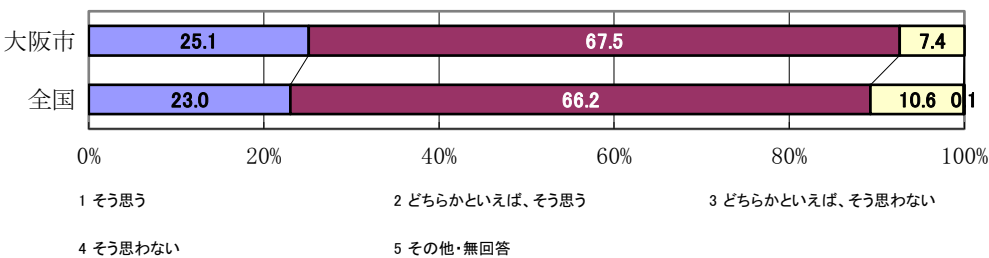
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



67_5

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5) 児童の心身の状況の把握

学校 「ほぼ毎日」を選択

